

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※ 内は、ロットNo.表示位置を示します。  
 ※居室用外部ボックス使用の場合は、居室用外部ボックス取付け説明書を参照してください。

■取付けされる方へのお願い

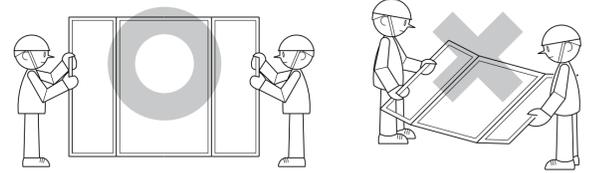
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 出窓の前倒れなどにより障子が脱落する原因になりますので、下記事項をお守りください。
  - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・まぐさ・45mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
  - ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
  - ・間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。
  - ・下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。
  - ・屋根は必ず奥まで差込んでください。
- 必ず、上部ピボットが上部ピボット受けに入っていることを手で引いて確認してください。障子が脱落する原因になります。
- 本製品は複層ガラス使用のため、組立て後の製品重量は最大70kg(屋根を含めると80kg)になります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
  - ・外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
  - ・屋根用シール材は絶対にはがさないでください。
  - ・屋根は必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
  - ・外壁は52mm以下に仕上げてください。
  - ・出窓下部に造り付け収納部を作らないでください。
  - ・縦枠フィンと屋根背板・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

■取付け上のお願い

- 屋根にはしごをかけたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けなどの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材は濡れると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は、保護してください。



■取付け部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いないよう使用してください。

記号	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫	㊬	㊭	㊮	㊯
名称	皿木ねじφ3.5×32	ナベタッピンねじφ4×30	丸木ねじφ4.1×63	スクリュー釘φ2.4×38	ナベタッピンねじφ4×30(座金付き)	皿木ねじφ3.1×20	プッシュボタン	皿木ねじφ3.1×20	縦枠下部防水シール	防水補助シール
姿図										
使用個所	縦枠(室外側) - 躯体	水切り - 躯体 補強ブラケット - 躯体	補強ブラケット - 躯体	屋根 - 躯体	正面上枠 - 屋根	天板見切り縁 - 屋根	正面上枠	天板見切り縁 - 額縁 縦枠 - 額縁 側面下枠 - テーブル板	縦枠下部フィン 下枠補強材フィン	屋根 - 縦枠フィン
袋表示	取付用1				取付用2			取付用3		-

■取付け順序

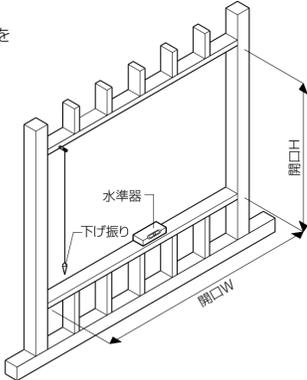
1 開口部の確認

■取付け詳細

※図中の記号は、取付け部品一覧表の記号を示します。間違いないよう使用してください。

1 開口部の確認

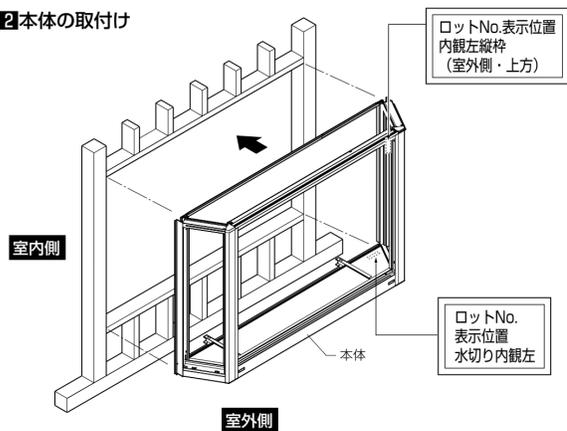
- 水平・垂直を確認し、開口部を作成します。



▲注意

- 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・まぐさ・45mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。

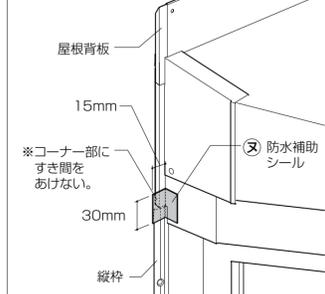
2 本体の取付け



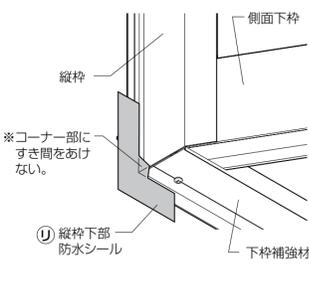
2 本体・屋根の取付け

- ①本体を開口部に差込み、補強ブラケット・水切り・縦枠(室外側)の順で躯体に固定します。
- ②屋根を本体に差込み、躯体に固定します。
- ※コーナー部にすき間ができないように十分押付けて張ってください。
- ③上枠と屋根を固定します。
- ④上枠にプッシュボタンをはめ込みます。
- ⑤天板見切り縁と屋根を固定します。
- ⑥縦枠フィンと屋根背板の境目に防水補助シールを張ります。【図1】
- ⑦本体を躯体に取付けた後、縦枠下部防水シールを張ります。【図2】

【図1】

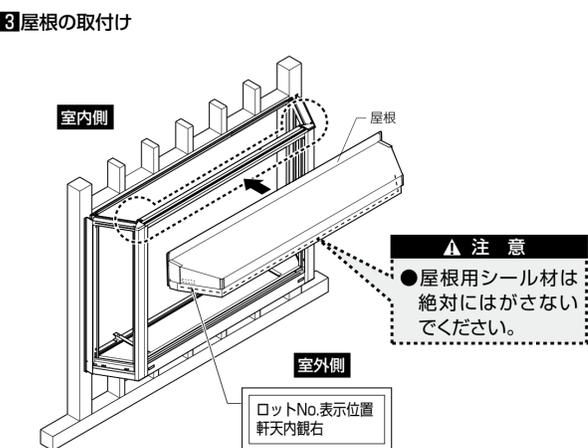


【図2】



▲注意  
 ●縦枠フィンと屋根背板・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

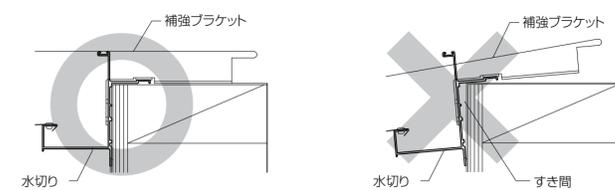
3 屋根の取付け



■A部詳細図

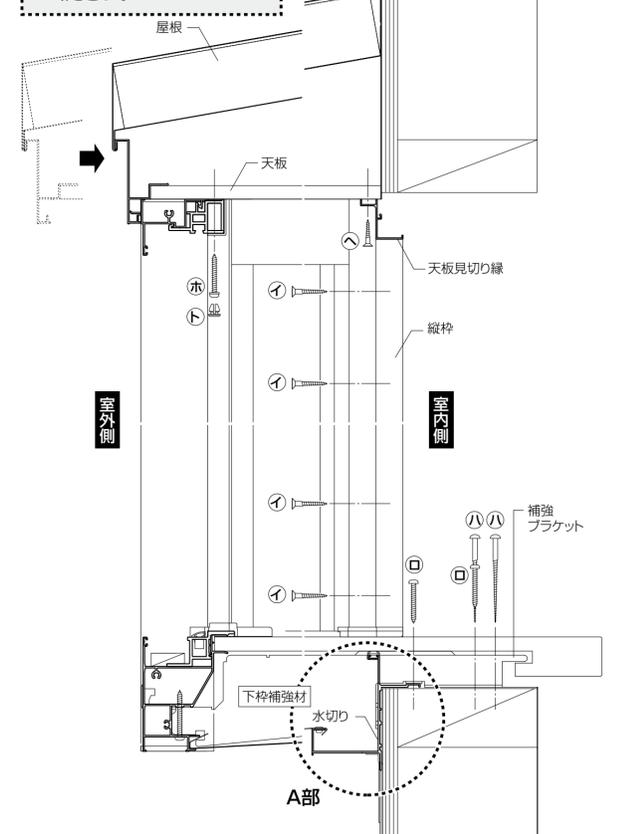
▲注意

- 下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。

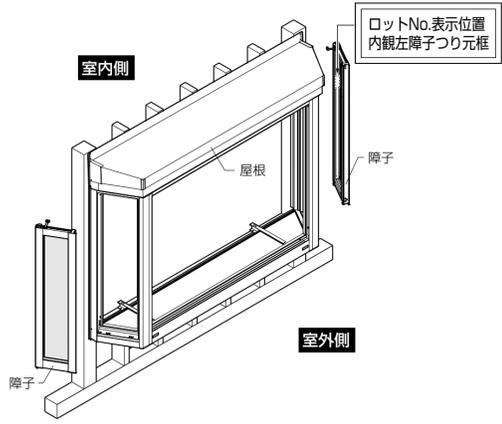


▲注意

- 屋根は必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。

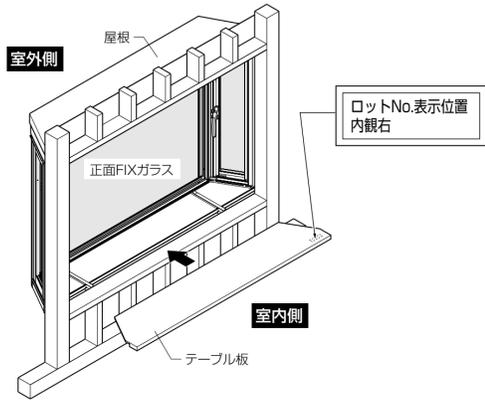


4 障子の取付け



5 正面FIXガラスの建込み

6 テーブル板の取付け

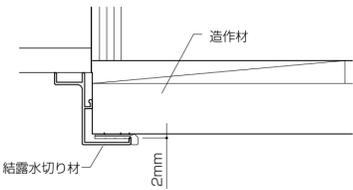


7 造作材(仕上げ材)と縦枠・天板見切り縁の固定

■結露水切り材(別売り)の取付け (使用する場合のみ)

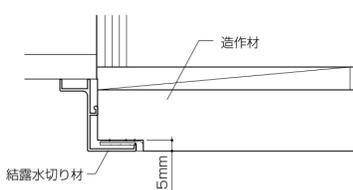
※造作材(仕上げ材)は、結露水切り材の厚みを考慮した寸法にしてください。

●加工できない場合 (ウッディーライン・化粧合板など)



●加工できる場合

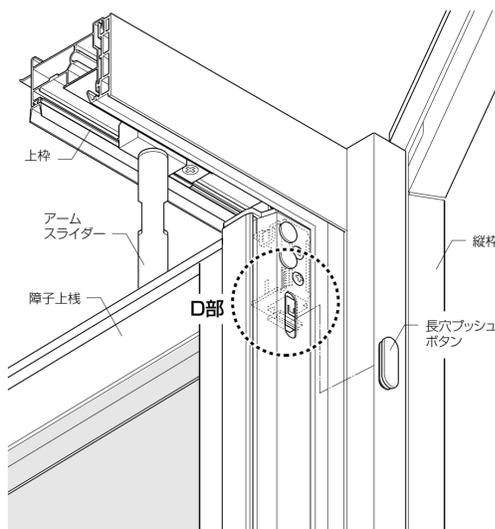
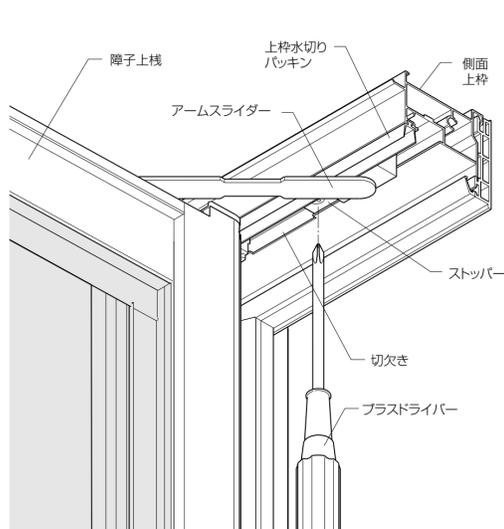
※出窓枠と造作材を同一面に納める場合は、下図の寸法とします。



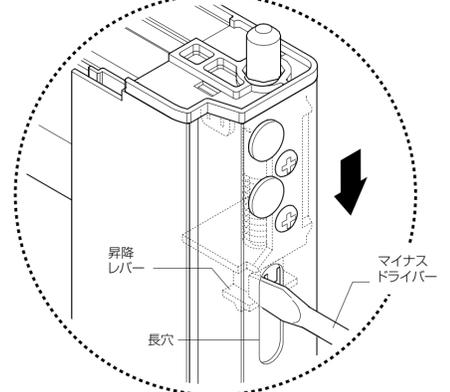
8 網戸(別売りの)取付け

■障子の外し方

- ①上枠に付いているストッパーをプラスドライバーで外します。
  - ②障子をいっぱいにあけて長穴プッシュボタンを外します。
  - ③長穴内の昇降レバーをマイナスドライバーで下げ、上部ピボットを外します。
  - ④障子をしっかりと持ち、アームスライダーを切欠きから外します。
  - ⑤障子を持ち上げ、下部ピボットを外します。
- ※外した部品(ストッパー・ねじ・長穴プッシュボタン)は保管しておいてください。

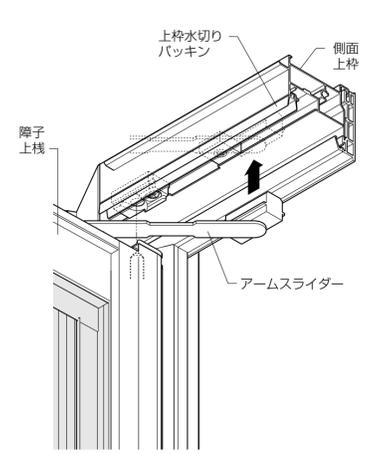
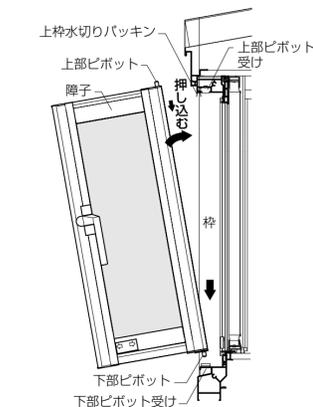
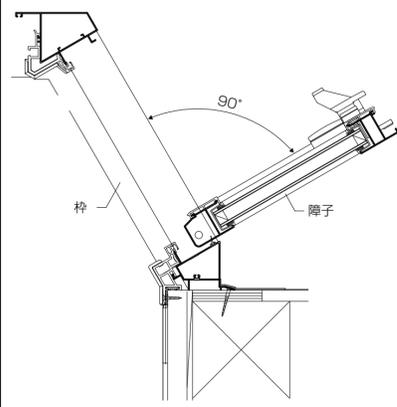


■D部詳細図



4 障子の取付け

- ①障子を枠に対して90°にし、下部ピボット受けに入れます。
- ②上部ピボットを指で押込みながら障子を起こし、上部ピボット受けに入れます。
- ③上枠水切りパッキンをはさまないよう、アームスライダーを上枠に差込みます。

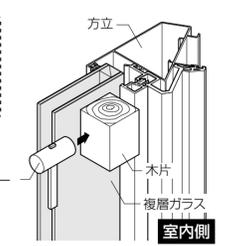


▲注意  
●必ず、上部ピボットが上部ピボット受けに入っている事を手で引いて確認してください。

5 正面FIXガラスの建込み

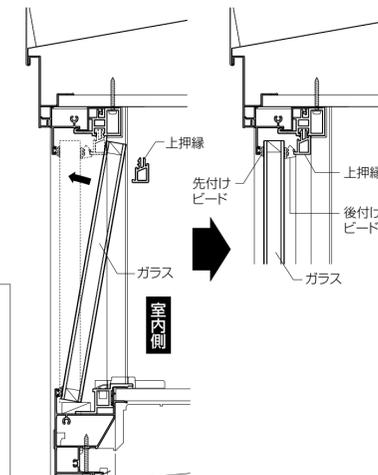
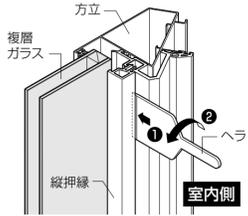
- ①室内側からガラスを入れます。
- ②縦押縁・上押縁の順で押縁に木片を当て、ハンマーで端部よりたたき込みます。
- ③後付けビードをまわします。

●お願い  
※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



■FIX部ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁と上枠・方立の間に右図のようなヘラを突き当たるまで差込み、ねじるようにして押縁を外してください。



■FIX部ガラスビードの使用区分

先付けビードのハクリ方法

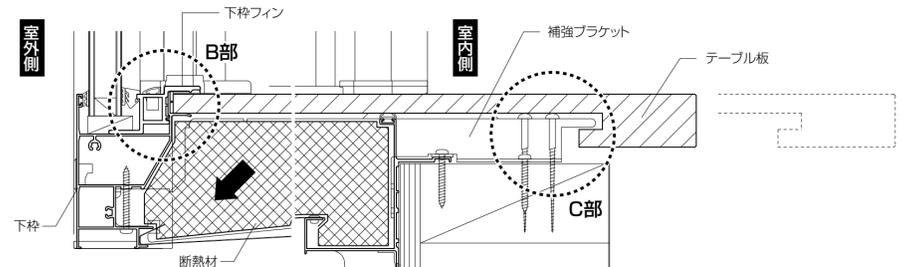
ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売)
18	3-12-3	4	8
19	3-12-4	4	7
20	3-12-5 4-12-4	4	6
21	4-12-5	3(ハクリ)	6
22	3-12-6.8 5-12-5	4	4
23	4-12-6.8	4	3
24	5-12-6.8	3(ハクリ)	3

●PG(複層ガラス) a=30

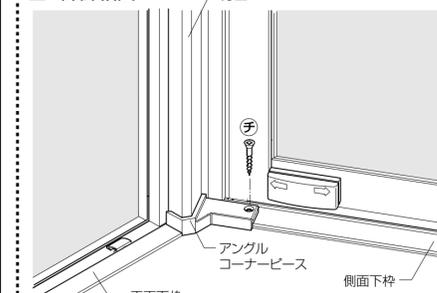
※後付けビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上押縁・縦押縁・下枠の4方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。

6 テーブル板の取付け

- ①テーブル板を差込む前に断熱材を下枠の奥まで押込んでください。断熱材がテーブル板にはさまれるおそれがあります。
  - ②下枠フィン・補強ブラケットに、テーブル板の両端を上から押さえ、差込んでねじ止めします。
- ※ねじはあまり締めすぎないでください。部品を变形させるおそれがあります。



■B部詳細図



■C部詳細図

